

すぎなみ 教育報

No. 233

令和元年6月15日
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

CONTENTS

特集 安全でおいしい 学校給食ができるまで	2
杉並区教育委員会の計画改定	4
夏休み子ども向け催し情報カレンダー2019 ワークショップ&特別講座 「南極経由、宇宙行き」	5
桃井第二小学校の新校舎の完成 第7回 杉並区中学生小笠原自然体験交流	6
我が校はコミュニティ・スクール! ③	7
ようこそ学校図書館へ⑦ 地域ぐるみで子どもたちを犯罪から 守りましょう	8
第4回すぎなみ小・中学生未来サミット 教育委員会からのお知らせ	

健やかな成長と発達の
礎になることを願って

区立学校では、子どもたちの心とからだを育むため、
安全でおいしい学校給食を手作りしています。

安全でおいしい学校給食ができるまで

杉並区の学校給食は、「心のこもった、手作り料理による楽しい給食」を目指しています。おいしい！とたくさん食べてくれる子どもたちの笑顔は何よりの喜びとして、献立の充実を図ったり、衛生面や食材の安全対策を徹底したりしています。

本特集では、安全でおいしい給食が出来上がるまでについて紹介します。



スタート

① 献立作成

教育委員会事務局や各学校にいる栄養士が協力して、家庭で不足しがちな食品を摂取できるよう栄養バランスを工夫し、季節や行事に合わせてバラエティーに富んだ毎月の「標準献立」を作成しています。

「標準献立」を基に、各学校の栄養士が学校の規模や行事等に合わせて、献立を完成させます。

また、日本各地の郷土料理も献立に取り入れ、伝統的な食文化を学び、食への関心を深めています。



沖縄の郷土料理
「ししじゅうしい、イナムドゥチ、にんじんしりしり、ちんすこう」

② 食材の発注

限られた食材費※でおいしい給食を作るために、食材の種類から調味料に至るまで厳選し、金額を計算して発注しています。

食材は、区内の商店等を中心に契約しているほか、区内の農家から新鮮な野菜を直接納入してもらう学校もあります。

「区内で採れた野菜です。」
清水の井口さん



※今年度は一食あたり 254～329円(学年により異なります)です。



【農家さんのコメント】

野菜を作っている人の顔が分かる
とたくさん食べてくれて「おいしい」と言ってもらえるのでやりがいを感じます。

おいしい野菜を作るための一番の秘訣は「愛情♡」です！

「おいしい野菜が育っています。」
下高井戸の鈴木さん



③ 身支度・手洗い

作業を始める前に健康状態をチェックし、手を洗います。ひじまでしっかりと2回洗い、指先と爪の間の汚れを落とすために爪ブラシを使ってきれいに洗います。



白衣に異物が付いていないことを、粘着テープなどで確認します。



④ 食材の確認

食材の納品時に、品質や鮮度、包装状況や異物の混入がないかなど、しっかりと確認します。



⑤ 下処理

野菜や果物は、シンクで3回以上洗います。肉、魚、卵は、それぞれ専用のエプロンをつけ、必ず使い捨て手袋をして扱います。



⑥ 調理

何百人分もの食材を切り、全て加熱処理します。温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で出せるよう、効率的な順番で調理するなど工夫をしています。

【だしやルウも全て手作りです】

本物の味を教えたいとの思いから、かつお節やさば節などから丁寧にだしをとっています。鶏ガラや豚骨には、野菜くずなども入れて煮込み、本格的なスープを作っています。ハンバーグやカレールウも各学校の給食室で手作りしています。



回転釜は炒める、茹でる、煮る、蒸すなど、給食には欠かせない調理機器です。



ハンバーグも一つひとつ手で丸めます。



【給食調理員さんのコメント】

給食が残らず戻ってきたときや、子どもたちに「おいしかった」「ごちそうさま」と言われたときにとてもやりがいを感じます。

短時間で大量の給食を作り上げるために仲間とのチームプレーを大切に、日々給食を作っています。

松ノ木中学校の塩田さん



⑦ アレルギー対応食の提供

食物アレルギーのある子どもには、アレルギーを除去して提供します。アレルギー対応食の調理担当者は専用のエプロンをつけて、除去した食材が誤って混入することがないように、常に細心の注意を払っています。

アレルギー対応食には、専用食器とトレイを使用し、誰もが一目でわかるようにしています。



アレルギー対応食器

通常食器

⑧ 検食

子どもたちが食べる30分前までに、校長先生が給食を食べて、異物が混入していないか、加熱や冷却が適切に行われているかなど安全性と、味や量などを確認します。



⑨ 配缶・配膳

クラス人数分の料理を計量して配缶し、クラス用配膳車を指定の場所まで運び、安全に子どもたちに受け渡せるよう立ち会っています。子どもたちは、白衣や白帽子、マスク等を着用して配膳します。



⑩ 給食の時間



給食にかかわる全ての方に感謝の気持ちを込めて、大きな声で元気良く「いただきます!」「ごちそうさまでした!」

給食は、楽しい時間を過ごすだけでなく、豊かな食体験を通じて望ましい食習慣、食に関する知識を得る大切な時間になっています。

◆インターネット料理レシピサイト「クックパッド」で給食レシピをご覧になれます

心と体がよるこぶ杉並区の給食のレシピをご家庭でも気軽に利用でき、子どもたちの食育にも役立つよう、お知らせしています。



◆給食ができるまでをご紹介したDVDを作っています

杉並区の安全でおいしい給食ができるまでをまとめたDVDを作成しています。本特集でご紹介した内容をぜひ動画でご覧ください。7月末に、区公式HPに掲載するほか、各学校にDVDを配布する予定です。

杉並区 学校給食 検索

「教育ビジョン2012」の実現に向けて、計画を改定しました

共に学び
共に支え
共に創る
杉並の教育

教育委員会では、「杉並区教育ビジョン2012」（平成24～令和3年度）の基本目標「共に学び共に支え共に創る杉並の教育」の実現に向け、令和2年度から順次全面実施となる新学習指導要領への対応を含め、昨年11月に改定された「杉並区総合計画」等との整合を図った上で、計画の改定を行いました。
教育ビジョンの最終段階における取組を推進するため、令和元年度から3年度までの3年間を計画期間として、以下の計画の更なる推進を図っていきます。

計画の詳細は、教育委員会HPをご覧ください。 [教育委員会の計画・方針](#)

杉並区教育ビジョン2012推進計画

「杉並区教育ビジョン2012」に掲げた目標実現のための行動計画です。

- | | | |
|--|---|--|
| <p>目標Ⅰ 学びをつなげ、切れ目のない教育を進めます
「小中一貫教育の推進」など8事業</p> | <p>目標Ⅱ 学校の経営力・教育力を高めます
「教員の指導力の向上」など9事業</p> | <p>目標Ⅲ 個に応じた学び・成長をきめ細かく支えます
「特別支援教育の充実」など6事業</p> |
| <p>目標Ⅳ 家庭・地域・学校が協働し、共に支える教育を進めます
「新しい学校づくりの推進」など4事業</p> | <p>目標Ⅴ 学校教育環境の整備充実を図ります
「区立小中学校老朽改築計画の改定」など6事業</p> | <p>目標Ⅵ 誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めます
「学び合いを支える学習機会の充実」など7事業</p> |

杉並区特別支援教育推進計画

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する教育の充実を図るための計画です。

視点1. 一人ひとりの教育的ニーズに応じた質の高い教育を実現するために

- 推進プラン1 「校内委員会の充実」など4事業
- 推進プラン2 「全教員の特別支援教育の視点での指導方法の改善」など4事業
- 推進プラン3 「特別支援教室の充実」など6事業

視点2. 就学前から切れ目のない支援をするために

- 推進プラン4 「幼児期から学齢期につなぐ就学支援相談の実施」など5事業

視点3. 地域社会との関わりを拓くために

- 推進プラン5 「交流及び共同学習の推進」など4事業

子どもも大人も・ワクワクドキドキ

～次世代型科学教育事業～

ワークショップ&特別講演

「南極経由、宇宙行き」

極地建築家
村上祐貴さん



極地での暮らしを想像しながら、厳しい土地で生まれた「イグルー※」をヒントにした家づくりを通じ、人間と環境の調和のとれた関係を考えます。

当日は、極地建築家の村上祐貴さんを講師にお迎えし、社会教育センターが開催している「すぎなみ大人塾(プラネット・ラボ)」学習支援者の(株)アソボット伊藤剛さんとその受講生、都立杉並工業高等学校の生徒が、「都会のイグルー」づくりのサポートを行います。子どもたちが取り組む「都会のイグルー」づくりのワークショップと特別講演で、地球のメカニズムを解き明かすことに好奇心無限大の大人や高校生と、世代を超えて学び合います。

※「イグルー」…圧雪ブロックを使って作る一時的なシェルター

- 【日 時】** 7月28日(日) 午前9時～午後5時
- 【会 場】** 桃井第二小学校 体育館(狹窪5-10-25)
- 【ワークショップ参加定員】** 20名(小学4～6年生)
- 【ワークショップ参加申込方法】** メールに、行事名、郵便番号・住所、氏名(フリガナ)、学年、電話番号を書いて、6月30日(必着)までに社会教育センター(shakyo-c@city.suginami.lg.jp)へ。応募者多数の場合は抽選。
- 【その他】** 「ワークショップ&特別講演」は公開で行います。特別講演は概ね午後3時から予定(ワークショップの進行状況により変動します)しています。保護者や見学希望者は事前にお問い合わせください。

問合せ：社会教育センター ☎03-3317-6621



イグルー完成イメージ
プラスチックダンボールで「都会のイグルー」を作ります。

桃井第二小学校の新校舎が完成しました



改築に当たっては、学識経験者、学校関係者、保護者及び近隣住民等で構成する校舎改築検討懇談会において議論を重ね、その結果を踏まえて設計し、3月末、新校舎が竣工しました。

施設の特徴としては、善福寺川に面する敷地特性を生かし、敷地南側に校舎を配置することで、校庭面積を確保しながら、開放的でありかつ北側への日影に配慮しました。1階には150人規模の学童クラブを併設し、施設の複合化を図るとともに、地域の方々が利用される際に外部から直接出入りできる開放会議室や、小規模な遊び場を整備することで地域に開かれた学校となるような設計としました。

また、太陽光発電、雨水再利用など環境に配慮した設備を配置するとともに、災害時には震災救援所となることも踏まえ、マンホールトイレ、自

家用発電設備などを設置し、避難場所となる体育館(空調設備完備)に面して防災倉庫や屋上プール排水が利用可能なトイレを設け、地域の防災拠点としての機能の充実を図りました。

今後とも、地域のランドマークとして、地域と共に歩んでいくことを目指しています。



善福寺川から見た校舎



読み聞かせスペースのある図書室



屋上の花壇

自由研究の課題探しにもぜひ活用してください!

「夏休み子ども向け催し情報カレンダー2019」

区立の図書館・郷土博物館・社会教育センター・スポーツ施設等で実施する夏休み期間中に行われる子ども向けの催し情報を一覧にしたカレンダーです。

開催日順に「聞く👂」「見る👁️」「作る🔪」「動かす🏃」「実験する🧪」のマークで表示し、催し情報をわかりやすく掲載しています。

特集記事では、夏休みのプール開放のほか、科学に親しむことができる催しなど、楽しい情報が盛りだくさんです!

【配布方法】7月中旬に区立小学校の全児童へ配布します。

また、児童館、図書館、区民事務所等でも配布します。

※7月下旬に区公式HPで掲載します。

問合せ：生涯学習推進課 管理係



この取組は、世界的視野で持続可能な社会を考えることができる資質・能力を育むことを目的とした杉並区次世代育成基金活用事業です。今回は、3月22日から27日まで区内在住の中学生30名が小笠原村の父島を訪れ、様々な体験・交流を通して学ぶことができました。今後、学校や地域において、環境保全活動の推進役として活動するための貴重な体験をしてきた派遣生の声をお届けします。

参加した派遣生の声



島の方の話や聞く中で、「好きだから守る」という言葉が強く心に残った。環境を守るためには、学問的に分かるだけではなく、「好き」という気持ちが大切で、その気持ちがベースになれば、行動していけると感じた。

小笠原の海の中はとてもきれいだった。一方、海洋センターでは、ウミガメは間違えてゴミを食べてしまうため、胃の中にゴミがたまっていることを学んだ。今後、海の環境保全とウミガメの保護について考え、取り組んでいきたい。



小笠原の自然や海は想像以上にきれいで、感動したが、毎朝行ったビーチクリーニングでは、たくさんのゴミが集まり驚いた。このきれいな自然を守るために、何をすべきか考えて、多くの人々に伝えていきたい。

引き継がれる学びの姿勢 そして未来へ！ 對馬初音 教育委員



春休みに代表派遣生徒と、小笠原村父島に行き参りました。この事業は「環境リーダーを育てる」という目的を持って、平成24年度から実施されています。

私は4年ぶりの引率でしたが、この4年間で派遣生の心構えが変わってきていることを感じました。これまでの派遣生による成果報告会や各学校で発表した学習の成果を聞いたからでしょうか、今回の派遣生は、1回目の事前学習会の時から、すでに各自で調べをするなど、目的意識の高い生徒ばかりで驚きました。

さらに帰りの船では「島の人たちが自分たちに伝えてくれた多くのことを、今度は自分が伝えていきたい」「授業で勉強した「持続可能な社会」ということがわかった気がする」「後輩にもこの事業に参加してほしいから、大人になったら次世代育成基金に寄付できる人になりたい」などの派遣生の言葉から、この事業の成功を確信しました。先輩から後輩へと学ぶ姿勢が引き継がれ、未来への大きな投資となることを期待します。

さらに帰りの船では「島の人たちが自分たちに伝えてくれた多くのことを、今度は自分が伝えていきたい」「授業で勉強した「持続可能な社会」ということがわかった気がする」「後輩にもこの事業に参加してほしいから、大人になったら次世代育成基金に寄付できる人になりたい」などの派遣生の言葉から、この事業の成功を確信しました。先輩から後輩へと学ぶ姿勢が引き継がれ、未来への大きな投資となることを期待します。



成果報告会のお知らせ



第7期派遣生が、体験や交流を通して学んだことや、今後、自然環境を守るために取り組むべきことなどを発表します。ぜひお越しください。

日時：7月6日(土) 午後2時～午後4時
会場：泉南中学校 多目的室 (堀ノ内1-3-1)

※引き続き、午後4時から第8期派遣の事業説明会を行いますので、応募を検討している生徒、保護者の方はぜひお越しください。
※第8期派遣生の応募期間は、7月1日から9月27日までの予定です。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

連載1

我が校はコミュニティ・スクール! ③

コミュニティ・スクール! 15歳になります

初代学校運営協議会4校の集い 呼びかけ人 谷原 博子

※コミュニティ・スクールについては、教育報 No.230号(特集)・教育委員会HPで紹介しています。

私が委員を務めている桃井第四小学校の学校運営協議会は、平成17年度に区内で初めて学校運営協議会を設置した学校(コミュニティ・スクール【以下「CS校」という。】)として15年目を迎えました。

同年には、三谷小学校、杉森中学校、向陽中学校もCS校となり、4校それぞれに手探りで委員の役割やCS校ができることについて考え、実践してきました。

5月、これまでの委員個々のつながりを頼りに、15年目を迎えた4校の委員と元委員10名が「棚卸し」をキーワードに集い、杉並区のCS校が横にネットワークを組んで、情報提供や学び合いの場づくりができないかなど意見交換を行いました。4校でスタートし区内の小中55校がCS校となった今、「課題を分かち合うこと」や「可能性を探る

こと」「各CS校の特徴をより活かしていくこと」を真剣に熟議することがますます求められてきていると感じるからです。

CS校で育った子どもたちは、いよいよ社会で活躍する時を迎えています。4校それぞれの15年分の実践を振り返ることは、子どもたちの育ちの検証の機会でもあります。

今後、4校でゆるやかに始めたこの集いが、4校に留まることなく、熟議と協働を手探りではじめた新しいCS校ともつながりながら、私たちにとっての学校運営協議会制度の発展、進化に役立てていけたらと思っております。

問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

連載2

ようこそ学校図書館へ



その⑦ 中瀬中学校

中瀬中学校は、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士が名誉校長を務める学校です。小柴博士ゆかりの「科学と自然の散歩道」が近く、散歩道の整備と美化を特色ある教育活動の一つとしている学校です。

中瀬中学校の学校図書館では、資料を活用した調べ学習に力を入れています。中学校時代に「信頼のおける資料を使って基本的なレポートが書ける」ことを目標にしています。

3年生の理科では、遺伝についての理解を深めるために「学校図書館の資料を使って遺伝に関するレポートを書こう」というテーマに取り組みました。

資料としては、一般書の外に参考資料や関連する新書、科学雑誌や新聞記事等を利用することを目指し、幅広く資料を収集することに留意しました。専門的な資料は全て教員が目を通して、レポート作成に直結する重要部分には付箋を貼ることで、中学生にも調べやすいようにサ

ポートしました。その結果、生徒たちから「参考文献の書き方など基本的な知識も身に付き、様々な資料を活用してレポートを完成させたことが自信につながった」と、感想が寄せられています。遺伝が、最先端の医療技術や農作物、食料や環境など身近なことに関係していることにまで理解を深めた学習でした。

学校司書の町田さんは、「インターネット情報に頼りがちな昨今ですが、信頼のおける図書資料を使ってレポートを書く基本姿勢を身に付けてほしい。学校図書館は豊富な資料を取り揃えて学びや読書を支えていきたい。」とこれからの抱負を語ってくれました。

巡回指導する教員に質問する生徒



初めて手にする科学雑誌や専門書を真剣に読む生徒たち



問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021



地域ぐるみで子どもたちを犯罪から守りましょう！



- ⚠ 子どもたちの登下校時間は、掃除や散歩などできるだけ屋外で見守りましょう。
- ⚠ 一人で登下校をしている子どもや、遅い時間に子どもを見かけたら、一声かけましょう。
- ⚠ 地域で不審者を見かけたら、すぐに110番に連絡してください。
- ⚠ 子どもが助けを求めてきたら、屋内に入れ、110番に連絡してください。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

第4回すぎなみ小・中学生未来サミットを開催します

～「明日も行きたくなる学校」を みんなで考えましょう～



全区立小・中学校の代表児童・生徒が、学校生活をよりよくするために、どうすべきか、自分たちにできることは何かを考え、学校の取組を発表します。当日は、「明日も行きたくなる学校～みんなが笑顔で居心地のいい環境とは～」をテーマに、ファシリテーターを交えて意見交換をしたり、有意義な議論を行ったりしたいと考えています。

小・中学生の豊かな発想、柔軟な考えを持ち寄り、明るい未来をつくるきっかけづくりとなることを願っていますので、皆さんの参加をお待ちしております。



日時：7月27日（土） 午前9時40分～午後0時35分
会場：セシオン杉並 ホール・展示室等（梅里1-22-32）



問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

教育委員会からのお知らせ

◎「杉並区立学校における働き方改革推進プラン」及び「運動部活動の在り方に関する指針（ガイドライン）」を策定しました。また、中央図書館の大規模改修に伴い、工事休館中にも図書館サービスを維持するため、予約本の受取・返却とともに蔵書検索ができる端末を設置した荻窪臨時図書窓口（天沼3-23-1 天沼弁天池公園内（郷土博物館分館東棟1階 ☎03-3398-2021））を開設しています。詳細は、教育委員会 HP「最新のお知らせ」に掲載しています。

広告

DOORS INTERNATIONAL
NURSERY SCHOOL & SCHOOL

2～5歳児のインターナショナル保育園
doors International Nursery School
ネイティブの先生から直接英語を学ぶグローバルな視点での保育を探索しています。

1歳から小学生の学童までお預かりの
doors International School
英語はもちろん、アート・サイエンスなどをカリキュラムに取り入れた充実の内容。学童では、プログラミング・コーチングなども追加された充実のレッスン内容です。

Information
運営会社：株式会社 マイドアーズ
東京都杉並区阿佐谷南 1-12-5 クリオレミントンハウス 110
Tel: 03-4500-5033 ✉ doors_international@mydoors.co.jp
南阿佐ヶ谷駅より徒歩4分、パールセンターとすずらん商店街の分岐点

<https://mydoors.co.jp/>
HPはこちらから→

イオンサプライ

ポカリスエット